

パン格拉テ



募金活動を始めたシャジード・ラフマンさん(左と向江大樹さん) 松江市西川津町

(森みずき)

パン格拉テデシユは日本の5分の2ほどの面積に1億6千万人が暮らし、人口密度が高い。世界保健機関(WHO)によると1日に3千人近い新規感染者が確認されている。3月から7月までロックダウン(都市封鎖)を実施。主要の繊維産業が打撃を受け、学生の保護者

に交換留学制在はパングラ留学生約40人び、中国人にダッカ大か院に進学したラフマンさんんの話に賛同妹や弟のようたいと願う彼えられるようい」と呼び掛向江さんはに興味を持ち勉強している。つなぐ貴重たい」と話したい。募金は1口ら。問い合わせ電話090(217。

奥出雲・日刀保たたら

村下の木原さん受賞

アジアンカルチャーアワード 技術の後継者育成を評価

日刀保たたら(島根県奥出雲町大呂)の村下、木原明さん(84) 奥出雲町下



中野善寿代表理事(左)から表彰を受ける木原明さん 一島根県奥出雲町横田、奥出雲たたらと刀剣館

横田が29日、一般財団法人・東方文化支援財団(東京、中野善寿代表理事)から「アジアンカルチャーアワード」の表彰を受けた。

アジア圏の文化、芸術を後世に残すため、2019年8月に設立された同財団は文化、芸術を陰で支える人々を顕彰する制度を今年から設けた。「アジアンカルチャーアワード」は木原さんを含め全国で3人が受賞し、山陰両県では木原さんが唯一となる。技師長に当たる村下として、日本古来のたたら製鉄で日本刀の原料となる玉鋼を生産し、積極的に後継者を育成している点が評価された。29日、奥出雲たたらと刀剣館(奥出雲町横田)であった表彰式で、木原さんは

地域見直すきっかけに 加賀神社遷宮 住民、歴史学ぶ

松江・島根



20年に1度の遷宮に伴う「曳舟神事」が新型コロナウイルスの影響で中止になった加賀神社(松江市島根町加賀)の遷宮の歴史を知る講演会が28日、島根町公民館で開かれた。住民25人

が集まり、遷者が伝統継承えた。加賀神社は根のふき替え女装した氏子、たわら人形を

さんいんワイド Sanin WIDE